

**問題No.1**

次の業種業態と商業施設に関する次の組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。

1. アウトレットモール …… 横浜ベイサイドマリーナ
2. カテゴリーキラー …… トイザラス
3. SPA …… ユニクロ
4. ホールセールクラブ …… 全日食チェーン

**【解説】**

4. 全日食チェーンはボランティアチェーンに含まれる。

答 4

**問題No.2**

生活者は購買動機によって利用する施設を使い分けている。ショッピングセンター (SC) タイプに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. ネイバーフード型 SC  
…… 食品スーパーやドラッグストアを中心とした、日常の買い物を中心とした SC
2. パワーセンター  
…… 価格破壊力と圧倒的品揃えを武器とする大型専門店やカテゴリーキラーを集めた SC
3. 本格的 SC  
…… 核店 (GMS、百貨店) に専門店が一体化した生活ワンパッケージ型 SC
4. ライフスタイルセンター  
…… 自然環境とデザイン環境を融合させた、生活提案性の高い中広域型 SC

**【解説】**

「商業施設 創造とデザイン」Ⅲ. さまざまな商業のかたち 3. 主な業態のいま P.73～76参照

答 4

**問題No.3**

業種業態に関する次の文章で、**A**～**D**の部分に入る最も適当な組み合わせはどれか。

『小売業はどんな商品を売るかといった **A** から、どんな顧客に対してどんな商品を売るかの **B** 開発によって進化していく。また、商業集積についても、同様のことが言える。**C** が集積してつくれる **D** などが開発されている。』

	A	B	C	D
1	業態店	業種店	カテゴリーキラー	パワーセンター
2	業種店	業態店	カテゴリーキラー	パワーセンター
3	業態店	業種店	パワーセンター	カテゴリーキラー
4	業種店	業態店	パワーセンター	カテゴリーキラー

**【解説】**

「商業施設 創造とデザイン」 Ⅲ. さまざまな商業のかたち 1. 業種と業態 P.62参照

**答 2**

---

**問題No.4**

百貨店が低落下した原因に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 消費構造の変化
2. 商業構造の変化
3. 都市構造の変化
4. 建築構造の変化

**【解説】**

4. 建築構造の変化は百貨店が低落下した原因とはならない。

**答 4**

---

**問題No.5**

平成17年度調査において、商店街の大きな問題としてあげられた次の記述のうち、最も順位の高かったもの（最も大きな問題とされているもの）はどれか。

1. 商圏人口の減少
2. 駐車場がない
3. 後継者問題
4. 大型店に客足を取られている

**答 4**

---

**問題No.6**

コンビニエンスストアの運営の基本4原則に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 鮮度管理
2. クリンネス
3. 売れ筋商品の品揃え
4. フレンドリーサービス

**【解説】**

2. クレンリネス (Cleanliness) が正しい。

**答 2**

**問題No.7**

購買動機と業態の組み合わせに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 廉価性重視 …… ホールセールクラブ
2. 利便性重視 …… コンビニエンスストア
3. 比較購買重視 …… 百貨店
4. 品質重視 …… スペシャルティストア

**【解説】**

3. コミュニティ型SC、スペシャルティセンターが正しい。

答 3

**問題No.8**

商店街の商圈規模による4つのタイプに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 近隣型 …… 日常性の買い物、徒歩・自転車
2. 地域型 …… 買回り品及び最寄り品店、徒歩・自転車・バス
3. 広域型 …… 百貨店・量販店等大型店あり、買回り品より最寄り品が多い
4. 超広域型 …… 百貨店・量販店等大型店あり、有名専門店、高級専門店を中心として、遠距離から来街

**【解説】**

最寄り品より買回り品が多い。

答 3

**問題No.9**

チェーンオペレーションの基礎となっている生産性向上のための3要素に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 標準化
2. 単純化
3. 専門化
4. 総合化

**【解説】**

標準化、単純化、専門化が3要素となる。

答 4

**問題No.10**

ショッピングセンター (SC) における業種業態の一般的な適正規模に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 書籍店：100坪以上
2. シネマコンプレックス：1,500～2,000坪
3. スーパーマーケット (SM)：150～500坪
4. ジェネラル・マーチャンダイズ・ストア (GMS)：15,000坪～20,000坪

**【解説】**

4. GMSの適正規模は、49,500～66,000坪 (15,000～20,000㎡) である。

「商業施設・創造とデザイン」Ⅲ. さまざまな商業のかたち 3. 主な業態のいま P.73～76参照

答 4

**問題No.11**

ショッピングセンター (SC) の各業態における商圈の広い順に並べた次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. スーパーリージョナル型SC

↓

リージョナル型SC

↓

ネイバーフッド型SC

↓

スーパーマーケット (SM)

2. ネイバーフッド型SC

↓

リージョナル型SC

↓

スーパーマーケット (SM)

↓

スーパーリージョナル型SC

3. アウトレットモール

↓

リージョナル型SC

↓

ネイバーフッド型SC

↓

スーパーマーケット (SM)

4. アウトレットモール

↓

コミュニティー型ショッピングセンター (C S C)



ネイバーフッド型 S C



コンビニエンスストア (C V S)

**【解説】**

「商業施設・創造とデザイン」Ⅲ. さまざまな商業のかたち 3. 主な業態のいま P.73～74参照

答 2

**問題No.12**

業種分野により、実在の店名をグループ化した次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. グッチ、ディオール、タグホイヤー、ルイヴィトン
2. ユナイテッド・アローズ、シップス、アーバンリサーチ、エディフィス
3. ジーユー、ユニクロ、キャビン、セオリー
4. ABCマート、ABCクッキングスタジオ、ABC (青山ブックセンター)

答 4

**問題No.13**

ショッピングセンター (S C) における店舗の運営経費のうち、共益費としてテナントが支払う経費に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 共用通路の照明機器の電気代
2. イベントなどの共同販売促進費
3. S C外壁の雨漏り修繕費
4. 貨物用エレベーターの点検費

答 3

**問題No.14**

「電子マネー元年」と言われる2007年。次の業態店舗と利用できる電子マネーの組み合わせに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。(2007年5月現在)

1. セブンイレブン …………… nanaco
2. イオン …………… WAON
3. サークルKサンクス …… Edy
4. 西武百貨店・そごう …… nanaco

答 4

**問題No.15**

近年、大手百貨店の経営統合や大都市部への新規出店、既存店の増床・改装など活発な動きが目立つ。次の記述のうち、最も不適當なものはどれか。

1. 2007年、大丸と松屋の経営統合
2. 2008年、伊勢丹新宿本店を全面改装
3. 2010年、大阪に三越が新規出店
4. 2011年、博多に阪急百貨店が新規出店

**【解説】**

1. 2007年に大丸と経営統合したのは松坂屋。

答 1